

第2945回例会 令和6年10月24日(木)

出席委員会委員長	早川 比呂太
会員総数	18名
本日の出席者(免除者)	16名(2名)
本日の出席率	94.1%

会長あいさつ

会長 鈴木泰光 君

私の同業者ですが、能登の方では解体が多く、引っぱりだこだそうです。災害が起きると私たちや消防の人が駆り出されることが多く、私も幸田の川が氾濫した時や豚熱の時に仕事に行きました。東海豪雨で毎日土のう袋を作ったことも思い出深いです。

皆さん、日ごろからの災害への備えをしっかりとお願いします。

今週のスマイル

親睦委員長 久米健史 君

地区米山記念奨学委員会 伊藤健一 君

本日は米山記念奨学会のお話をさせていただきます。

鈴木泰光君 伊藤地区米山記念奨学委員、ようこそ西尾一色 RC へ。本日の卓話よろしくお願ひします。

牧野美恵君 伊藤様、はるばる一色までありがとうございます。卓話よろしくお願ひします。

鳥居萬里君 地区米山の伊藤健一君、ようこそ西尾一色 RC にお越しいただきありがとうございます。本日はよろしくお願ひ致します。

神谷 林君 伊藤君の卓話を楽しみに聞かせてください。

渡邊 徹君 地区米山記念奨学委員会伊藤様、ようこそ西尾一色 RC へ。本日はよろしくお願ひします。

早川比呂太君 地区米山委員会伊藤様、本日はご指導よろしくお願ひします。

山下民義君 地区米山委員伊藤さん、本日の卓話ご苦労様です。

田中三千雄君 伊藤健一君、ようこそ西尾一色 RC へ。よろしくお願ひします。

池田榮三君 米山記念奨学委員 伊藤健一様、本日はよろしくお願ひします。

藤井知明君 伊藤さんようこそ西尾一色 RC へ。卓話楽しみにしています。

久米健史君 消防の技術発表が終わりました。

12件 21,000円

本日の卓話

「ロータリー 米山記念奨学会について」

地区米山記念奨学委員会 伊藤健一 君



皆さんこんにちは。一色と言えはうなぎと焼きせんべいでしょか。

先日のカウンセラー研修会では尾崎さんとお会いしました。本日はこの西尾一色 RC のアットホームな雰囲気にもまれそうになりながら、お話をさせていただきます。

私は58歳、二川小中学校～愛知県立農業大学校をへて、農家の2代目、農業を始めて38年、一日もイヤと思ったことがなく、キャベツ・玉ねぎを作っております。キャベツは種まきから3ヶ月～6ヶ月間育て収穫するわけですが、色々な産業に助けられて農業がおこなえることに感謝しています。私の思う農業の魅力はなんと言っても皆様の食べ物を作っている大事な仕事です。値段(価格)以外は全て自分で決めることができる。食糧自給率は37%です。きっかけがあったらぜひ農家へお願いします。

わたしのロータリー歴と思いについてですが、私は2018年に入会しました。私の紹介者はインフォメーションで2回目の出会で推薦していただきました。両脚を人口骨手術し、2年間休会しました。委員長を3年連続し、2024年に米山記念奨学委員会へ出向しました。ロータリーは最高のクラブです。豊橋 RC は補助金事業でタイ支援事業を行いました。若い人たちがロータリーを通じ世界平和につながっていくことが出来ると思っています。

ロータリー米山記念奨学事業についてお話しします。1954年の第一号奨学生はタイのソムチャードさんです。米山基金の構想したのは古澤丈作さんです。ロータリー米山記念奨学事業は、日本のロータリーが作り育てた独自の事業です。1952年に事業が始まって以来、日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。財源はすべてみなさんからのご寄付で成り立っています。もっとすごいのは世話クラブがあり、まさに西尾一色 RC の尾崎さんのようなカウンセラー制度があることです。これにより国際親善、世界平和につながっていきます。

ロータリー米山記念奨学金は、日本のロータリーの父、米山梅吉翁の名前を冠した事業です。と言いましても、梅吉さんの財産で作られたものではありません。米山梅吉翁は1868年、ロータリーの創設者、ポール・ハリス氏と同じ年に生まれました。遣米使節団の一員としてアメリカ滞在中、ダラスロータリークラブの会員となっていた日本人の福島喜三次氏と出会い、1920年に日本で最初のロータリークラブ、東京ロータリークラブを設立しました。そのため、日本のロータリーの父と呼ばれています。

続いて、奨学生の人数や選考プロセスについて説明します。米山は、外国人留学生を対象とする民間の奨学金では、国内最大規模です。2024学年度は、日本全国で926人が採用され、各ロータリークラブでお世話

をいただいています。累計では、今年2カ国増え、世界133の国と地域から2万4,133人を支援しています。近年はベトナムが増えています。中国が多いのはそもそも奨学生が多いからです。

さて、米山奨学生の採用は、全国統一の基準があります。「将来の目標・留学の目的がきちんとしているかどうか」「交流への熱意があるかどうか」「人柄の良さ」「コミュニケーション能力の高さ」、詳しい評価項目は公表していませんが、全国統一の評価項目を使って、各地区の選考委員会が面接選考をしています。もちろん、応募書類の審査もしています。ロータリー米山記念奨学会は2012年に公益財団法人となり、より一層の公平性・透明性を確保するため、このように全地区共通の選考基準で選考をしています。将来、日本と世界とを結ぶ懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリーの良き理解者となる人材を育てる事業なのです。

これはクインさんも参加された7月13日 ワイズカフェ大須での米山奨学生交流会の様子です。当地区では今年度、51人の奨学生を受け入れています。来年、2025学年度の割当数は53人です。

次に、寄付金についてお話しします。昨年度、2023-24年度の寄付金収入は14億4,568万円と、その前の年度から約2,300万円増加となりました。有価証券の配当金は、事前の取り決めにより、奨学金にのみ使用しています。みなさまのご寄付はほとんどが奨学金に使われていますが、奨学金以外、例えば地区や世話クラブへの補助費、事業部門の職員人件費などにも一部使われています。

米山奨学会への寄付は大きく2種類です。クラブから会員数分を納める「普通寄付金」と、それ以外に、個人・法人・クラブから任意で出す「特別寄付金」です。当地区の平均寄付額は36,935円で第1位です。当地区の個人平均寄付額36,935円のうち、普通寄付金は平均4,974円、全国平均は4,909円。また、特別寄付金は31,960円、全国平均は12,384円でした。普通寄付金の金額は、豊橋5,000円 西尾一色さん4,000円です。

では、皆さんが支援した元奨学生たちは、どんな活躍をしているのでしょうか。

巣立った奨学生はほとんどがアジアですが、OB組織、米山学友会は日本に33、海外に10あります。これは9月24日行われた奨学生、学友会の総会写真ですが皆、立派に日本で活躍しています。巣立った奨学生たちは、個人としても世界中で活躍しています。そして、ロータリー会員としてわれわれの仲間となる学友がいます。現在、ロータリー会員になった学友は302人です。米山学友が中心となって設立したロータリークラブは台湾に2つ、日本国内に4つあるほか、衛星クラブも2つ設立されています。また、ガバナーになった学友も3人おり、林隆義さん、許國文さん、林華明さんです。さらに、なんと2026-27年度にはインドネシアのラスmana センダリウスさんが、米山学友として4人目のガ

バナーとなる予定です。

米山へのご寄付のほとんどはロータリー会員からのものですが、実は学友も、この事業を支えてくれています。米山学友からの寄付金は、累計1億3,305万円にのびます。これ以外にも、日本で大きな災害が起きるたびに、国内外の学友から義援金が寄せられています。

この事業を今後も大切にするために、危機管理やそのその他知っておいていただきたい点について

①自然災害の場合。

有事の際、SNSグループを作っておくと、いざというときに迅速に確認を取ることができます。

②病気や事故の場合。

③ハラスメント。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、実際の奨学生の選考、お世話などの業務を、地区・ガバナー・世話クラブへ「委託」する形となっています。これまではその点を明文化することなく運営してきましたが、内閣府からの指摘により、「業務委託に関する規程」を整備しました。まず、「米山奨学会」と「地区」との間で覚書を交わし、続いて「地区」と「世話クラブ」との間で覚書を締結していただいています。これは、1回限りではなく、毎年実施するものです。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は2018年、内閣府賞勲局から、「紺綬褒章」の公益団体に認定されました。これにより、個人の場合は500万円以上、団体・企業などは1,000万円以上を当会へ寄付していただき、定められた条件を満たした場合に、紺綬褒章の授与申請をいたします

今後とも、米山奨学生を一人でも増やすために、普通寄付だけでなく特別寄付もお願いします。皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いします

先日、私はベトナムに帰りました。家族や友達と素晴らしい時間を過ごすことができました。ベトナムのコーヒーと紅茶を買ってきましたので、皆さんお弁当の時に飲んでみてください。いつもお世話になりました。ありがとうございます。



今週の献立

【愛】

